

# 米軍撤収 アフガンの基地

## 要塞に物資散乱 「丸投げ」

爆弾攻撃を防ぐコンクリート塀に囲まれた広大な要塞に物資が散乱していた。「何もかも丸投げだ」。アフガニスタン兵士が、ため息をついた。2001年9月の米中核同時テロ後に駐留を始めて約20年。米軍が最大拠点バگرام空軍基地からひっそり撤収した。全土で猛攻を続ける反政府武装勢力タリバンは力の空白を突くように基地に迫る。電気すらない真つ暗な司令部跡が将来を示しているかのようだった。



アフガニスタン・バگرام空軍基地に米軍が残した飲料水(共同)

## 迫るタリバン 強まる懸念

今月2日のアフガン側への引き渡し後、日本メディアでは初めて基地に入った。カブールから北に約40キロ。無機質な建物が立ち並ぶ基地内を車で10分ほど移動すると、米軍が06年に約6800万ドル(約75億円)かけて完成させた長さ約3600メートルの滑走路に到着した。エプロンには多数の車が止まっていた。米軍は撤収に際し数百台を「プレゼント」したという。



【北京共同】中国で当局批判も辞さない「物言う経営者」として知られる河北省保定市の民間企業グループ創業者、孫大午氏(67)と親族らが公共秩序騒乱など九つの罪で起訴され、初公判が同省の裁判所で開かれた。関係者が明らかにした。民間企業への締め付けを強める習近平指導部による見せしめとの見方も出ている。

## 中国民間企業締め付け強化

「物言う経営者」摘発 見せしめか

【北京共同】中国で当局批判も辞さない「物言う経営者」として知られる河北省保定市の民間企業グループ創業者、孫大午氏(67)と親族らが公共秩序騒乱など九つの罪で起訴され、初公判が同省の裁判所で開かれた。関係者が明らかにした。民間企業への締め付けを強める習近平指導部による見せしめとの見方も出ている。



「大午集団」創業者の孫大午氏(北京共同)

「政治家の思いつきの撤収だ。米軍が戻ってくる結果になるかもしれない」。あるアフガン兵は小聲で、和平が見通せない現状での米軍完全撤退に懸念を漏らした。アフガン国軍の基地司令、アサドラ・コヒスタニ氏によると、米軍は時刻を知らせないまま撤収した。2日朝に既に撤収したと耳にしたのは、撤収の数時間後。アフガン兵が配備されるまでに、地元の子どもたちが自由に立ち入る状態だった。今後はアフガン国軍の航空部隊が配備される。「米軍と同様にタリバンと戦う拠点になる」という。

「ここでは写真を撮らないで」。到着時、基地入り口に迎えに来た警察官が強く要請した。タリバン戦闘員ら多数を収容している施設が基地に隣接しているためだ。警察官は施設の位置を指さして教えてくれたが、米軍による虐待疑惑も報じられた施設に近くくことは認めなかった。

## アジアンスマイル

## オーストラリア 日本人の手作り納豆がヒット



納豆を作る工房での岩瀬大輔さん(5月、シドニー(共同))

オーストラリアの最大都市シドニーで日本人の手作り納豆が発売された。日本から冷凍輸入された納豆は日系スーパーで多く売られているが、解凍に手間がかかり、食べたい時にすぐ食べられず、風味が変わってしまうことも。「出たてを食べたい」という在留邦人らの心を捉え、瞬く間にヒット商品となった。

2009年からシドニーで暮らす岩瀬大輔さん(37)は、米国で過ごした幼少時、家族ですし店に行き「納豆好きばかり食べ続けている」と納豆好き。日本でも納豆は人気だが、大豆は地産地消が主流で、輸入品は少ない。シドニーでは冷凍品しか手に入らず、物足りなさを募らせ、自作を考えるようになった。



通信会社に勤める傍ら、昨年から論文を読み込むなど納豆の製法を調べ、機材もそろえて研究を重ねた。納豆菌は日本から取り寄せるのが一番と分かった。大豆は地産地消が主流で、輸入品は少ない。シドニーでは冷凍品しか手に入らず、物足りなさを募らせ、自作を考えるようになった。

今年に入り会社はパートタイム勤務に変更して納豆作りを本腰を入れるように。最初の工程は、大量購入した大豆を200グラムずつカップに取り、容器に移して1粒ずつ選別する地味な作業。「ここが一番品質に関わる」と妥協はしない。知人に試食してもらいながら改良を重ね、5月に商品化にこぎ着けた。仕事は納豆作り一本に絞った。

元産を使うとオーストラリア中から20種類ほど取り寄せたが、最も適したものは購入可能な最低量が1キロ。「やるしかない」と腹をくくった。



【ワシントンAFP時事】組み立てブロック「レゴ」でつくられた本物そっくりの銃ではなく、本物の銃をレゴ素材で再現した玩具銃「レゴ風」が、オーストラリアの拳銃(米ユタ州の銃メーカーのインスタグラムより)

「大午集団」創業者の孫大午氏(北京共同) 孫氏は、当局に迫害される民主活動家を雇用するなど、そかに支援。農家の税負担軽減を求めるなど政治的な言動でも注目を集め、たびたび政府の圧力を受けてきた。

習指導部は経営者が社会的影響力を持つことを強く警戒。当局批判を展開した電子商取引大手アリババグループ創業者の馬雲氏を指導するなど露骨に圧力を加えており、孫氏の摘発もその一環の可能性があると、孫氏は公判前手続きで「私たちは社会主義の模範的な企業。理想を持ってやってきたが、今では罪人となってしまった」と無念をにじませたという。

## ニュースの鏡

### 特定外来生物

海外から日本に入ってきた動植物や国内の在来種と交雑した動植物のうち、生態系や人の健康、農林水産業に被害を及ぼす恐れがある生物。156種類が指定されている。指定されると、輸入や飼育、売買などが原則禁止になる。既に日本に定着した種については、環境省や自治体が必要に応じて駆除などの対策を実施。鹿児島県奄美大島では、島の生態系を壊すフィリマンゲースを早ければ2023年度末までに根絶させる計画を立て、駆除に力を入れている。

昨年11月、地元の公安当局は突如グループの摘発に乗りだし、孫氏や妻、息子ら30人近くを拘束。今年5月に孫氏や幹部らが公務執行妨害や農地の違法占有などの罪で起訴された。弁護団の関係者は、検察は懲役25年を求刑する恐れがある」と述べた。

習指導部は経営者が社会的影響力を持つことを強く警戒。当局批判を展開した電子商取引大手アリババグループ創業者の馬雲氏を指導するなど露骨に圧力を加えており、孫氏の摘発もその一環の可能性があると、孫氏は公判前手続きで「私たちは社会主義の模範的な企業。理想を持ってやってきたが、今では罪人となってしまった」と無念をにじませたという。

そかに支援。農家の税負担軽減を求めるなど政治的な言動でも注目を集め、たびたび政府の圧力を受けてきた。

「ここでは写真を撮らないで」。到着時、基地入り口に迎えに来た警察官が強く要請した。タリバン戦闘員ら多数を収容している施設が基地に隣接しているためだ。警察官は施設の位置を指さして教えてくれたが、米軍による虐待疑惑も報じられた施設に近くくことは認めなかった。